



2026 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 旭ダイヤモンド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 片岡 和喜
(コード番号 6140 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部長 日下部 均
T E L (03) 3222-6311

連結業績予想の修正および特別損失（固定資産の減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 15 日に公表しました 2026 年 3 月期(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしました。また、2026 年 3 月期の連結決算において、下記のとおり特別損失(固定資産の減損損失)を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期の通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 42,500	百万円 2,300	百万円 2,600	百万円 2,200	円 銭 42.84
今回修正予想 (B)	41,992	2,417	3,387	1,936	39.41
増減額 (B－A)	△508	117	787	△264	—
増減率 (%)	△1.2	5.1	30.3	△12.0	—
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	41,006	2,311	3,070	2,493	48.36

2. 業績予想修正の理由

前回発表予想と比較して持分法投資利益の増加、為替差益の影響により経常利益は上回る見込みとなりました。また、子会社固定資産の減損損失約 1,800 百万円、当社固定資産の減損損失約 120 百万円を特別損失に計上することにより親会社株主に帰属する当期純利益は下回る見込みとなりました。

3. 特別損失(固定資産の減損損失)の計上について

欧州の子会社について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて検討した結果、将来の収益性が見込めないと判断したため、減損損失として約 1,800 百万円を計上する見込みとなりました。

また、当社は関連会社に製造移管したこと等により、使用見込みのない機械設備を減損損失として約 120 百万円を計上する見込みとなりました。

4. 配当予想

配当予想につきましては、変更ありません。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上